

V 特別選抜

1. 推薦入試

〔1〕選抜方法等

実施学部・学科名	教 育 学 部 学校教育教員養成課程
募 集 人 員	42人 $\left(\begin{array}{l} \text{幼児教育コース} \quad 2人 \\ \text{小学校教育コース} \quad 27人 \\ \text{中学校教育コース} \quad 13人 \end{array} \right)$
出 願 要 件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>推薦人員は、下記の区分(イ)を除いた(ア)～(サ)の区分^{※注1}ごとに1校につきそれぞれ1人とします。区分(イ)「小学校教育に関心をもつ者」については、1校につき3人まで推薦することができます。</p> </div>
選 抜 方 法 等	小論文、面接、口頭試問 ^{※注2} 及び実技検査 ^{※注3} の総合点により選抜します。面接では、調査書、推薦書、志望理由書、資格及び活動歴調査票を含め、総合的に評価します。
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月8日(火)
選 抜 期 日	平成28年11月19日(土) (面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。)
合 格 者 発 表 日	平成28年12月9日(金)
そ の 他	<p>※注1 区分は次のとおりです。</p> <p>【幼児教育コース】 (ア) 幼児教育に関心をもつ者</p> <p>【小学校教育コース】 (イ) 小学校教育に関心をもつ者 (ウ) 特別支援教育に関心をもつ者</p> <p>【中学校教育コース】 (エ) 国語教育に関心をもつ者 (オ) 数学教育に関心をもつ者 (カ) 理科教育に関心をもつ者 (キ) 技術教育に関心をもつ者 (ク) 家庭科教育に関心をもつ者 (ケ) 音楽教育に関心をもつ者 (コ) 美術教育に関心をもつ者 (サ) 保健体育教育に関心をもつ者</p> <p>※注2 上記の区分(ア)、(エ)、(オ)、(カ)、(キ)、(ク)、(コ)を志願する者には、口頭試問を行います。</p> <p>※注3 上記の区分(ケ)、(サ)を志願する者には、実技検査を行います。</p>

(推薦入試)

実施学部・学科名	教 育 学 部 人間発達環境課程
募 集 人 員	9人
出 願 要 件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>[注] ①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">推薦人員は、1校につき2人までとします。</div>
選 抜 方 法 等	小論文及び面接の総合点により選抜します。面接では、調査書、推薦書、志望理由書、資格及び活動歴調査票を含め、総合的に評価します。
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月8日(火)
選 抜 期 日	平成28年11月19日(土) (面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。)
合 格 者 発 表 日	平成28年12月9日(金)
そ の 他	

(推薦入試)

実施学部・学科名	法 学 部 (昼間コース) 法 学 科 (推薦Ⅰ)
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。 推薦人員は、1校につき4人までとします。
選 抜 方 法 等	小論文及び面接※(調査書、志望理由書の評価も含みます。)の総合点により選抜します。 ※面接は、グループ・ディスカッションの方式で行います。
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月8日(火)
選 抜 期 日	平成28年11月19日(土) (面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。)
合 格 者 発 表 日	平成28年12月9日(金)
そ の 他	法学部「推薦Ⅰ」志願者は、「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも、法学部が実施する「推薦Ⅱ」に出願することができます(他学部出願者は不可)。

(推薦入試)

実施学部・学科名	法 学 部 (昼間コース) 法 学 科 (推薦Ⅱ)										
募 集 人 員	30人										
出 願 要 件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">推薦人員は、1校につき4人までとします。</div>										
選 抜 方 法 等	<p>調査書、志望理由書及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。</p> <p>【大学入試センター試験の利用教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-top: 1px dotted black; border-bottom: 1px dotted black;">国『国語』</td> <td style="text-align: right;">必須</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dotted black; border-bottom: 1px dotted black;">数(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">2科目</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dotted black; border-bottom: 1px dotted black;">(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dotted black; border-bottom: 1px dotted black;">外(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目</td> <td></td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table> <p>から1教科</p> <p>〔2教科3科目(数学の場合)又は2教科2科目(外国語の場合)〕</p> <p>(注) 1. 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)</p> <p>2. 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。</p> <p>3. 数学、外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。</p> <p>4. 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。</p>	国『国語』	必須		数(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目	}	2科目	(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目	外(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目		}
国『国語』	必須										
数(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目	}	2科目									
(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目											
外(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目		}									
出 願 期 間	平成29年1月16日(月)～ 1月20日(金)										
選 抜 期 日	個別学力検査等は課しません。										
合 格 者 発 表 日	平成29年2月8日(水)										
そ の 他											

(推薦入試)

実施学部・学科名	経済学部 (昼間コース) 経済学科 経営システム学科 (推薦Ⅰ) 地域社会システム学科						
募集人員	52人 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>経済学科</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>経営システム学科</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>地域社会システム学科</td> <td>15人</td> </tr> </table>	経済学科	18人	経営システム学科	19人	地域社会システム学科	15人
経済学科	18人						
経営システム学科	19人						
地域社会システム学科	15人						
出願要件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持ち、学業成績、人物ともに優れ、調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>[注] ①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 推薦人員は、1校につき5人までとします。 </div>						
選抜方法等	小論文、面接及び調査書(特記事項を評価します。)の総合点により選抜します。						
出願期間	平成28年11月1日(火)～11月8日(火)						
選抜期日	平成28年11月19日(土) (面接等の日時については、志望者数によっては翌日にわたることがあります。)						
合格者発表日	平成28年12月9日(金)						
その他	経済学部「推薦Ⅰ」志願者は、「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも、経済学部が実施する「推薦ⅡA」又は「推薦ⅡB」に出願することができます(他学部出願者は不可)。						

(推薦入試)

実施学部・学科名	経済学部 (昼間コース) 経済学科 経営システム学科 (推薦ⅡA) 地域社会システム学科			
募集人員	42人 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">(</td> <td style="border: none;"> 経済学科 16人 経営システム学科 16人 地域社会システム学科 10人 </td> <td style="border: none;">)</td> </tr> </table>	(経済学科 16人 経営システム学科 16人 地域社会システム学科 10人)
(経済学科 16人 経営システム学科 16人 地域社会システム学科 10人)		
出願要件	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校の普通科又は理数科, 文理科, 英語科など本学が普通科に準ずると認める学科を平成29年3月に卒業見込みの者 (2) 人物的に優れ, 勉学意欲が旺盛であり, 調査書の全体の評定平均値が4.0以上で, 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は, 入学を確約できる者 [注] ①高等学校には, 中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ②「平成29年3月に卒業見込みの者」には, 「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 推薦人員は, 推薦ⅡA・推薦ⅡBを合わせ, 1校につき5人までとします。 </div>			
選抜方法等	調査書(特記事項を評価します。)及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。 【大学入試センター試験の利用教科・科目】 国 『国語』 必須 数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目 外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [3教科4科目] (注) 1. 『 』内記載のものは, 2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。なお, 『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目) 2. 外国語で『英語』を選択した場合は, リスニングの成績を利用します。 ただし, 大学入試センターからリスニングを免除された者は, 筆記試験のみとします。			
出願期間	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)			
選抜期日	個別学力検査等は課しません。			
合格者発表日	平成29年2月8日(水)			
その他				

(推薦入試)

実施学部・学科名	経済学部 (昼間コース) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">経済学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">経営システム</td> <td style="padding: 0 10px;">学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">地域社会システム</td> <td style="padding: 0 10px;">学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> </tr> </table> (推薦ⅡB)	経済学	科		経営システム	学	科	地域社会システム	学	科			
経済学	科												
経営システム	学	科											
地域社会システム	学	科											
募集人員	5人 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">経済学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> <td style="padding: 0 10px;">2人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">経営システム</td> <td style="padding: 0 10px;">学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">地域社会システム</td> <td style="padding: 0 10px;">学</td> <td style="padding: 0 10px;">科</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="padding: 0 10px;">1人</td> </tr> </table>	経済学	科	2人	経営システム	学	科	地域社会システム	学	科			1人
経済学	科	2人											
経営システム	学	科											
地域社会システム	学	科											
		1人											
出願要件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校の農業、水産、工業、商業、家庭、厚生、商船、美術、音楽などに関する専門教育を主とする学科（普通科又は本学が普通科に準ずると認める学科を除く。）を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 人物的に優れ、勉学意欲が旺盛であり、調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 推薦人員は、推薦ⅡA・推薦ⅡBを合わせ、1校につき5人までとします。 </div>												
選抜方法等	<p>調査書（特記事項を評価します。）及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。</p> <p>【大学入試センター試験の利用教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dotted black;">国 『国語』</td> <td style="text-align: right;">必須</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dotted black;">数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』)</td> <td style="text-align: right;">から1科目</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dotted black;">(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』)</td> <td style="text-align: right;">から1科目</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dotted black;">外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)</td> <td style="text-align: right;">から1科目</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">〔3教科4科目〕</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)</p> <p>2. 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。</p>	国 『国語』	必須	数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』)	から1科目	(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』)	から1科目	外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目		〔3教科4科目〕		
国 『国語』	必須												
数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』)	から1科目												
(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』)	から1科目												
外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目												
	〔3教科4科目〕												
出願期間	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)												
選抜期日	個別学力検査等は課しません。												
合格者発表日	平成29年2月8日(水)												
その他													

(推薦入試)

実施学部・学科名	医 学 部 医 学 科
募 集 人 員	25人（地域枠として、10人程度は香川県内の高等学校卒業見込者となります。また、地域枠とは別に全国から募集する「県民医療推進枠」5人を含みます。）
出 願 要 件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校における学習成績、人物が優秀で、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属する者で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 高等学校において、物理、化学及び生物（理数科にあつては理数物理、理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあつては理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びにコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱを履修した者 ただし、教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については、履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので、高等学校長を通じて10月7日（金）までに問い合わせてください。</p> <p>(4) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <p>③ 県民医療推進枠に出願できる者は、上記（1）～（4）の要件すべてに該当し、かつ、「県民医療推進枠」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります。 なお、県民医療推進枠に出願する場合には、通常の推薦入試と併せて出願することができます。</p> <p>1. 「香川県医学生修学資金」の貸し付けを受ける意思のある者</p> <p>2. 将来、県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）、意思の業務に従事する意思のある者</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">推薦人員は、1校につき6人までとします。</p>
選 抜 方 法 等	<p>出願書類、小論文及び面接の結果を総合的に判断し、大学入試センター試験の成績を参考にして選抜します。</p> <p>なお、県民医療推進枠を志願する者には、面接実施時に、香川県による面接を併せて実施します。</p> <p>【大学入試センター試験の利用教科・科目】</p> <p>数 『数Ⅰ・数A』…………… 必須</p> <p>『数Ⅱ・数B』…………… 必須</p> <p>理…〔物〕…〔化〕…〔生〕…………… から2科目</p> <p>外 『英』…………… 必須</p> <p style="text-align: center;">〔3教科5科目〕</p> <p>(注) 1. 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目)</p> <p>2. 外国語で『英語』は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。</p>
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）～ 11月8日（火）
選 抜 期 日	平成28年11月19日（土） （面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。）
合 格 者 発 表 日	平成29年2月8日（水）
そ の 他	

(推薦入試)

実施学部・学科名	<p>工学部</p> <p>安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科 (推薦Ⅰ)</p>
募集人員	<p>26人</p> <p>(安全システム建設工学科 6人) (電子・情報工学科 8人) (知能機械システム工学科 6人) (材料創造工学科 6人)</p> <p>※各学科の募集人員は、高等学校の工業、商業、情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く。）を履修した者を1人以上含むものとします。ただし、上記教育課程出身の志願者がいない場合は、この限りではありません。</p>
出願要件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>[注] ①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>推薦人員は、1校につき4人までとします。ただし、各学科2人までとします。</p> </div>
選抜方法等	<p>小論文及び面接（調査書、推薦書及び志望理由書の評価を含みます。）の総合点により選抜します。</p> <p>[注] 小論文は、資料（文章、図表等を含む。）を読んで、与えられた設問に指示された字数の文章で答えるものです。</p>
出願期間	<p>平成28年11月1日（火）～ 11月8日（火）</p>
選抜期日	<p>平成28年11月19日（土） （面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。）</p>
合格者発表日	<p>平成28年11月29日（火）</p>
その他	<p>工学部「推薦Ⅰ」志願者は、「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも、工学部が実施する「推薦Ⅱ」に出願することができます（他学部出願者は不可）。</p>

(推薦入試)

実施学部・学科名	工学部 安全システム建設工学科 電子・情報工学科 (推薦Ⅱ) 知能機械システム工学科 材料創造工学科
募集人員	26人 (安全システム建設工学科 6人) (電子・情報工学科 8人) (知能機械システム工学科 6人) (材料創造工学科 6人)
出願要件	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) 本学部に対する明確な志向と勉強意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">推薦人員について、1校あたりの人数制限はありません。</div>
選抜方法等	<p>調査書、志望理由書及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。</p> <p>【大学入試センター試験の利用教科・科目】</p> <p>数 (『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目 理 (『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目 外 (『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 [3教科4科目]</p> <p>(注) 1. 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目)</p> <p>2. 理科について、基礎を付さない科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。</p> <p>※ 大学入試センター試験において「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。</p> <p>3. 外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。</p>
出願期間	平成29年1月16日(月)～1月20日(金)
選抜期日	個別学力検査等は課しません。
合格者発表日	平成29年2月7日(火)
その他	

(推薦入試)

実施学部・学科名	農 学 部 応用生物科学科
募 集 人 員	25人 (高等学校の生物工学, 食品, 農業, 水産, 工業, 家庭, 情報, 国際などに関する専門教育を主とする学科 (本学が普通科と認める学科を除く。) 及び総合学科の割当枠2人を含みます。)
出 願 要 件	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉強意欲を持つとともに, 学業成績, 人物ともに優れ, 調査書の学習成績概評がB段階以上で, 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は, 入学を確約できる者 〔注〕①高等学校には, 中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ②「平成29年3月に卒業見込みの者」には, 「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。 推薦人員について, 1校あたりの人数制限はありません。
選 抜 方 法 等	小論文及び面接 (調査書及び志望理由書の評価を含みます。) の総合点により選抜します。 小論文では, 生物資源, 生物生産, 生命, 環境, 食料などに関する課題を与え, 生物学と化学の素養 (基礎知識と論理性) 並びに文章表現力を審査します。 面接は集団で行い, 志望理由書並びに調査書を参考にしながら, 志望する動機と修学に必要な科学的基礎学力, 論理的思考力, 自分の考えを的確に伝える表現力, 勉強に対する意欲などを評価します。
出 願 期 間	平成28年11月1日 (火) ~ 11月8日 (火)
選 抜 期 日	平成28年11月19日 (土) (面接等の日時については, 志願者数によっては翌日にわたることがあります。)
合 格 者 発 表 日	平成28年12月9日 (金)
そ の 他	

〔2〕推薦入試における口頭試問・実技検査（教育学部のみ）

<p>口頭試問</p>	<p>区分（ア）「幼児教育に関心をもつ者」に志願する者には，大学が準備した素材を用いて特定の年齢の乳幼児に対する表現力を問う課題（試験当日に指定します。）を含んだ口頭試問を個別に行い，保育実践及び乳幼児発達への関心・理解を問います。口頭試問の前には，一定の準備時間を設けます。なお，持参した資料・メモ等は使用できません。</p> <p>区分（エ）「国語教育に関心をもつ者」，区分（オ）「数学教育に関心をもつ者」，区分（カ）「理科教育に関心をもつ者」，区分（キ）「技術教育に関心をもつ者」，区分（ク）「家庭科教育に関心をもつ者」及び区分（コ）「美術教育に関心をもつ者」に志願する者には，それぞれの教科の基礎的知識を問う口頭試問を個別に行います。</p> <p>なお，区分（コ）「美術教育に関心をもつ者」に志願する者は，高等学校又は高等専門学校在籍中に制作した作品又はその作品の写真を，3点以上，事前に送付するか，送付できない場合は試験当日に持参してください。口頭試問は主にその作品について試問します。</p>
<p>実技検査</p>	<p>区分（ケ）「音楽教育に関心をもつ者」に志願する者は，下記の検査項目の（1）からa～cのいずれか1つと，（2）を合わせて計2項目を受験してください。</p> <p>（1） a. ピアノ：任意のソナタの中より第1楽章又は終楽章を演奏する。 （ただし，緩徐楽章を除く。）</p> <p>b. 木管楽器：任意の1曲を無伴奏で演奏する。</p> <p>c. 声楽：アリア又は歌曲より任意の1曲を演奏する（歌曲のみ移調可）。</p> <p>備考 1. 演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。</p> <p>2. 木管楽器は，各自持参してください。</p> <p>3. 声楽を受験する場合は，伴奏譜を入学願書に添えて提出してください。</p> <p>（2）旋律聴音</p> <p>区分（サ）「保健体育教育に関心をもつ者」に志願する者は，下記の検査項目を受験してください。</p> <p>一般運動能力テスト （ジグザグ走，20mシャトルラン，立ち5段跳び，長座メディシンボール投げ）</p> <p>備考 1. 十分に運動のできる服装を用意してください。</p> <p>2. 体育館シューズを持参してください。</p>

〔3〕推薦入試における配点

平成29年度推薦入試における大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 部	区 分		大学入試センター試験					個別学力検査等			計				
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	小論文	面接		その他			
教育学部	学校教育 コース	(ア)幼児教育に関心をもつ者	/					100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 100	350				
		(イ)小学校教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150		250				
		(ウ)特別支援教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150		250				
	中学校教育 コース	(エ)国語教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
		(オ)数学教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
		(カ)理科教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
		(キ)技術教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
		(ク)家庭科教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
		(ケ)音楽教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	実技検査 200	450				
		(コ)美術教育に関心をもつ者						100	(面接・調査書等) 150	口頭試問 200	450				
(カ)保健体育教育に関心をもつ者	100	(面接・調査書等) 150	実技検査 200	450											
人間発達環境課程		100	(面接・調査書等) 150		250										
法学部	(昼間コース) 法 学 科	推薦Ⅰ	/					100	※1 120		220				
		推薦Ⅱ						200	※3 200	※2, ※3 200	※3 400		調査書・ 志望理由書	※4 60	460
経済学部	(昼間コース) 経 済 学 科 経 営 シ ス テ ム 学 科 地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	推薦Ⅰ	/					60	60	調査書 10	130				
		推薦ⅡA 推薦ⅡB						100	100	※100	300		調査書 20	320	
医学部	医 学 科	/					★	★	(英語) ★	★	300	150	450		
工学部	安全システム建設工学科 電子・情報工学科						推薦Ⅰ	/					150	150	
	知能機械システム工学科 材料創造工学科	推薦Ⅱ	200	200	200	600							調査書・ 志望理由書	100	700
	農学部	応 用 生 物 科 学 科	100	100											200

(注)

【法学部】

- ※1 面接の点数は調査書、志望理由書の評価を含みます。
- ※2 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用し、配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- ※3 数学、外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。
- ※4 調査書については、地歴・公民の成績を重視し、さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ※ 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用し、配点は、筆記「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「100点」とします。

【医学部】

医学科推薦入試に課している大学入試センター試験(★印)は、高等学校における基礎学力の修得度を見るために利用します。外国語で『英語』のリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験の成績のみを利用します。

【工学部】

理科について、2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。